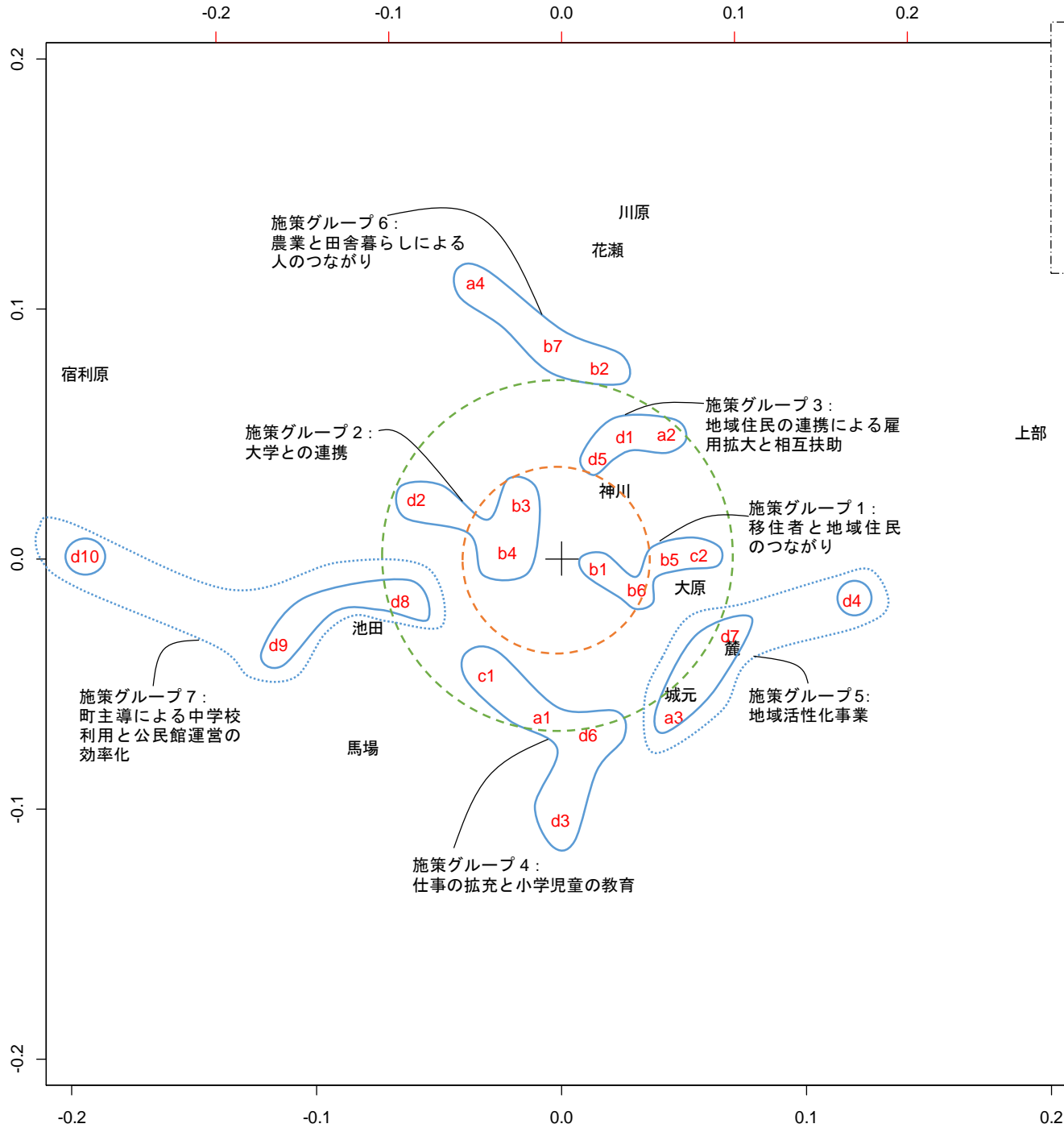


錦江町総合戦略策定のためのアンケート調査 分析結果



⇒地区の違いにかかわらず、
多くの住民の皆様が支持されている施策

- b1: 産休・育児休業中の親子が錦江町で生活するための支援
- b3: 定年退職者（錦江町出身者）のUターン促進
- b4: 中学校跡地を高等教育機関（大学など）の拠点として再生
- b6: 移住者の住宅利用のための空き家改修工事の支援

⇒施策グループ：
住民の皆様のご意向（アンケート）に基づいて、
施策をグループ化しています。

⇒この円内にある施策グループは、全ての地区に
共通して支持される施策グループです。
（施策グループ1, 2, 3, 4）

※地区名と施策グループ（青の囲み）の距離が近いほど、他の地区に比べて、その施策グループを支持していることを意味します。

例えば、神川地区にお住まいの方は、他の地区の方
に比べて、特に施策グループ3を支持する傾向にある
ようです。（なお、施策グループ3は、すべての地区の
方から共通に支持される施策グループでもあります。）

上部

-0.2

施策グループ	対応する地区
施策グループ 1：移住者と地域住民のつながり b1：産休・育児休業中の親子が錦江町で生活するための支援 b5：町外からの就農移住者と受入農家への支援 b6：移住者の住宅利用のための空き家改修工事の支援 c2：親子同居のための同一敷地新築、既存住宅増改築への補助	共通・大原
施策グループ 2：大学との連携 b3：定年退職者（錦江町出身者）のUターン促進 b4：中学校跡地を高等教育機関（大学など）の拠点として再生 d2：自然エネルギーによる地区公民館の支援	共通
施策グループ 3：地域住民の連携による雇用拡大と相互扶助（農業法人設立および公民館互助と機能強化） a2：農業法人の設立により時代に柔軟に対応できる農業の展開と雇用の安定 d1：地区公民館の複数連携を形成し、相互の助け合いを促進 d5：無店舗地区に地区公民館運営による共同販売所（よろず屋）を設置	共通・神川
施策グループ 4：仕事の拡充と小学児童の教育 a1：錦江町の住民が必要な衣食住に関する産業振興（衣食住の地産地消） c1：学童保育の連携による学校格差解消 d3：柔軟な小学校間の連携強化 d6：錦江町内の企業の地区内誘致	共通・馬場
施策グループ 5：地域活性化事業 a3：住民が新たな事業をおこすことによる雇用創出 d7：町職員として採用された地域おこし協力隊に主担当の地区を持たせる d4：スポーツ振興目的のスポーツフェスティバル開催	麓・城元 →城元 →麓
施策グループ 6：農業と田舎暮らしによる人のつながり a4：家族から農業後継者を生み出すための施策 b2：山村留学支援による小学児童の受け入れ b7：高齢者の短期移住支援（田植から収穫の時期）	花瀬・川原
施策グループ 7：町主導による中学校利用と公民館運営の効率化 d8：ふるさと納税の使途に「応援したい地区公民館」を指定（必要経費を除いて公民館の帰属収入となる） d9：中学校跡地を高齢者専用の集合住宅にする d10：中学校跡地を改修し、消防車庫や地区公民館などの機能を集約する	池田・宿利原・馬場